

第5回 始良市都市計画審議会 資料



日時：平成25年2月7日(木) 13:30～
場所：始良市役所 本庁2F 大会議室

会 次 第

第5回 始良市都市計画審議会

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議事録署名人の選出、会議の公開・非公開の確認
 - 4 経過報告
 - 5 議 事
 - (1) 始良市都市計画マスタープランについて（諮問）
 - 6 その他
 - 7 閉 会
-

始良市都市計画審議会委員名簿

任期 平成23年3月1日～平成25年2月28日

No.	氏名	区分	備考
1	岩下 吉廣	学識経験者	加治木町商工会推薦
2	竹下 清和	学識経験者	行政経験者
3	山口 正春	学識経験者	始良市農業委員会推薦
4	河東 律子	市議会議員	始良市議会推薦
5	法元 隆男	市議会議員	始良市議会推薦
6	有馬 研一	市議会議員	始良市議会推薦
7	萩原 哲郎	市議会議員	始良市議会推薦
8	小蓬原 忠俊	関係行政機関	始良警察署長
9	田ノ上 逸郎	鹿児島県の職員	始良伊佐地域振興局建設部長
10	竹下 敬喜	市の区域内に住所を有する者	自治会長連絡協議会推薦
11	湯川 久子	市の区域内に住所を有する者	女性団体連絡協議会推薦

経緯説明

No.	日付	内 容	場 所	備 考
1	10月29日	第4回始良市都市計画審議会	大会議室	
2	11月14日	議会全員協議会素案説明	委員会室	
3	11月22日	県都市計画課協議	県庁	
4	12月3日	パブリックコメント開始 (1/9 まで)	市ホームページ 情報公開コーナー 都市計画課、各支所建設課 窓口	
5	12月3日	パブリックコメント及び住民説明会広報誌、市HP掲載	市報あいら12月号 市ホームページ	
6	12月14日	市議会意見書提出期限	3人 9件	
7	12月15日	住民説明会（蒲生地域）	蒲生公民館	出席者8人
8	12月16日	住民説明会（始良地域） 住民説明会（加治木地域）	始良公民館 加音ホール	出席者8人 出席者8人
9	1月9日	パブリックコメント締切り	2人 2件	
10	1月23日	第6回幹事会	入札室	
11	1月26日	第6回策定委員会	始良公民館	
12	2月7日	第5回都市計画審議会	大会議室	

素案から原案へ変更箇所

No.	意見区分	意見の内容	章	原案の頁	意見に対する考え方及び修正内容	備考
1	鹿児島県 都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少している(H22国調)中でなぜ人口増なのか。(今後の人口増加の根拠は?) ・コーホート要因法による推計値を示した上で、目標値が人口増の理由となる理由(政策等)を示すべきではないか。 	第4章	28頁	<p>人口の目標の冒頭に説明追加及びグラフの差し替えと以下の説明文を追加する。</p> <p>「平成17年(2005年)から平成22年(2010年)の間の社会移動傾向が将来にわたって続いた場合、総合計画の目標年次である平成30年(2018年)までには73,100人程度、都市計画マスタープランの目標年次である平成44年(2032年)までには67,800人程度に人口が減少することが推計されます。</p> <p>このすう勢将来人口に、企業の立地促進による増加人口、住宅地開発による増加人口、社会移動傾向の改善による増加人口を加え、将来の目標人口を推計しました。」</p>	
2	策定委員会	28頁のグラフだが、下側にはすう勢将来人口という表記があるが、上側には表記が無い。目標人口だと分かるが、将来目標人口と表記しておいた方がよい。また、すう勢将来人口は、コーホート要因法により推計している訳だが、詳しく書く必要は無いが、そのことが分かるようにしておいた方がよい。	第4章	28頁	ご意見のとおり、グラフを修正する。	
3	パブコメ	市民プールに関する記載を追加するか、特定の競技の記載を削除してほしい。	第5章	48頁	<p>次のとおり修正する。</p> <p>「・体育館、広場、総合運動公園等の既存スポーツ施設の改修・整備を推進します。</p> <p>・市民のニーズに対応したスポーツ施設の整備の推進や各種大会、スポーツ合宿等の誘致を行うための施設の充実と整備を進めます。」</p>	
4	幹事会	都市施設整備の方針図に消防署の位置を入れたほうがいいのか。	第5章	53頁	始良市消防本部、始良市中央消防署始良分遣所及び始良市中央消防署蒲生分遣所を追加記載する。	

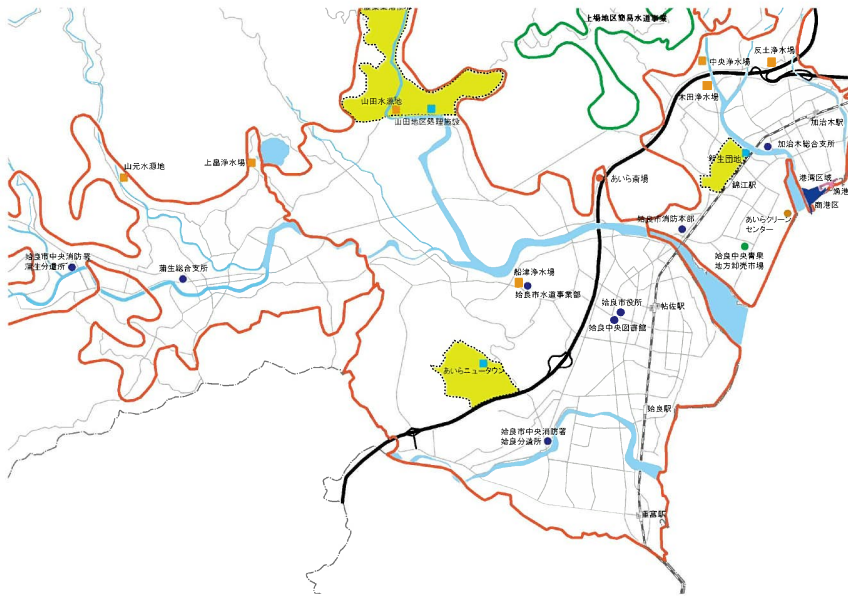
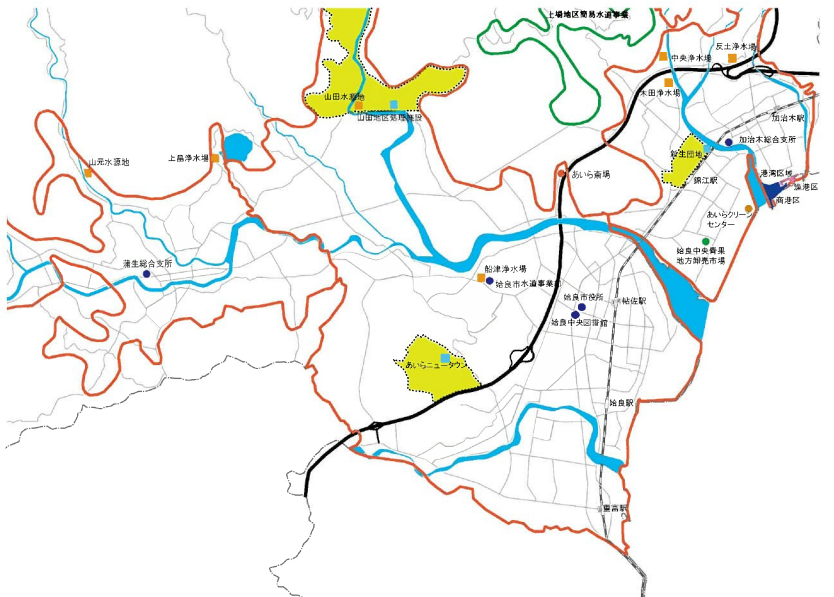
素案から原案へ変更箇所

No.	意見区分	意見の内容	章	原案の頁	意見に対する考え方及び修正内容	備考
5	課内	地区別構想にも錦原線の延伸区間を明記していたほうがよいのではないか。	第6章	74頁	「建昌周辺の都市計画道路錦原線と都市計画道路宮島線を結ぶ路線を検討します。」追加及び路線番号の修正	
6	幹事会	始良東部地区構想図で、都市計画道路錦原線沿線の国道10号から九州縦貫自動車道のところを近隣商業地として位置づけられないか。	第6章	76頁	現在、この沿線は第1種低層住居専用地域のところであり、近隣商業として位置づけることは近隣環境の悪化を招く恐れがあるが、スマートインターチェンジの設置を見据え、幹線道路沿道市街地に見直す。	
7	策定委員会	路線に注釈を入れたことによって分かり易くなったが、説明はいらぬか。	第6章	76頁他	構想図にも、路線番号について注釈を入れる。	
8	議会	項目 交流促進のところを下線とおりに修正したらどうか。 「鍋倉の八幡神社周辺及び桜公園から米山薬師までの歴史的な文化資源や自然環境を活かし、交流環境の整備を図る必要があります。」	第6章	89頁	ご意見のとおり修正する。	
9	議会	豊州島津家墓地(市史跡)を加えたらどうか。	第6章	95頁	「総禅寺墓地」として追加する。	

新旧対照表

箇所	新(原案)	旧(素案)																																																																		
第4章 P28	<p>平成17年(2005年)から平成22年(2010年)の間の社会移動傾向が将来にわたって続いた場合、総合計画の目標年次である平成30年(2018年)までには73,100人程度、都市計画マスタープランの目標年次である平成44年(2032年)までには67,800人程度に人口が減少することが推計されます。</p> <p>このすう勢将来人口に、企業の立地促進による増加人口、住宅地開発による増加人口、社会移動傾向の改善による増加人口を加え、将来の目標人口を推計しました。</p> <p>基準年次を平成24年(2012年)、目標年次を平成44年(2032年)及び中間目標年次を平成34年(2022年)とした本市の将来人口とその年齢構成、及び世帯数を、以下のように設定します。</p>	<p>基準年次を平成24年(2012年)、目標年次を平成44年(2032年)及び中間目標年次を平成34年(2022年)とした本市の将来人口とその年齢構成、及び世帯数を、以下のように設定します。</p>																																																																		
第4章 P28	<table border="1"> <caption>人口(人)の推移 (新(原案))</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>すう勢将来人口 (コホート要因法による)</th> <th>中間目標人口 (平成34年(2022))</th> <th>目標人口 (平成44年(2032))</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成2年(1990)</td><td>68,789</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>平成7年(1995)</td><td>71,762</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>平成12年(2000)</td><td>73,640</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>平成17年(2005)</td><td>74,840</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>平成22年(2010)</td><td>74,809</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>平成27年(2015)</td><td>73,937</td><td>78,105</td><td></td></tr> <tr><td>平成32年(2020)</td><td>72,623</td><td>81,287</td><td></td></tr> <tr><td>平成37年(2025)</td><td>70,876</td><td>80,121</td><td></td></tr> <tr><td>平成42年(2030)</td><td>68,780</td><td>78,550</td><td></td></tr> <tr><td>平成47年(2035)</td><td>66,405</td><td></td><td>76,603</td></tr> </tbody> </table>	年次	すう勢将来人口 (コホート要因法による)	中間目標人口 (平成34年(2022))	目標人口 (平成44年(2032))	平成2年(1990)	68,789			平成7年(1995)	71,762			平成12年(2000)	73,640			平成17年(2005)	74,840			平成22年(2010)	74,809			平成27年(2015)	73,937	78,105		平成32年(2020)	72,623	81,287		平成37年(2025)	70,876	80,121		平成42年(2030)	68,780	78,550		平成47年(2035)	66,405		76,603	<table border="1"> <caption>人口(人)の推移 (旧(素案))</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>人口(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成2年(1990)</td><td>68,789</td></tr> <tr><td>平成7年(1995)</td><td>71,762</td></tr> <tr><td>平成12年(2000)</td><td>73,640</td></tr> <tr><td>平成17年(2005)</td><td>74,840</td></tr> <tr><td>平成22年(2010)</td><td>74,809</td></tr> <tr><td>平成27年(2015)</td><td>78,105</td></tr> <tr><td>平成32年(2020)</td><td>81,287</td></tr> <tr><td>平成37年(2025)</td><td>80,121</td></tr> <tr><td>平成42年(2030)</td><td>78,550</td></tr> <tr><td>平成47年(2035)</td><td>76,603</td></tr> </tbody> </table>	年次	人口(人)	平成2年(1990)	68,789	平成7年(1995)	71,762	平成12年(2000)	73,640	平成17年(2005)	74,840	平成22年(2010)	74,809	平成27年(2015)	78,105	平成32年(2020)	81,287	平成37年(2025)	80,121	平成42年(2030)	78,550	平成47年(2035)	76,603
年次	すう勢将来人口 (コホート要因法による)	中間目標人口 (平成34年(2022))	目標人口 (平成44年(2032))																																																																	
平成2年(1990)	68,789																																																																			
平成7年(1995)	71,762																																																																			
平成12年(2000)	73,640																																																																			
平成17年(2005)	74,840																																																																			
平成22年(2010)	74,809																																																																			
平成27年(2015)	73,937	78,105																																																																		
平成32年(2020)	72,623	81,287																																																																		
平成37年(2025)	70,876	80,121																																																																		
平成42年(2030)	68,780	78,550																																																																		
平成47年(2035)	66,405		76,603																																																																	
年次	人口(人)																																																																			
平成2年(1990)	68,789																																																																			
平成7年(1995)	71,762																																																																			
平成12年(2000)	73,640																																																																			
平成17年(2005)	74,840																																																																			
平成22年(2010)	74,809																																																																			
平成27年(2015)	78,105																																																																			
平成32年(2020)	81,287																																																																			
平成37年(2025)	80,121																																																																			
平成42年(2030)	78,550																																																																			
平成47年(2035)	76,603																																																																			

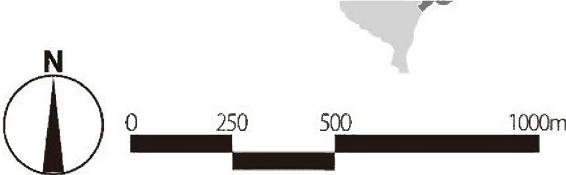
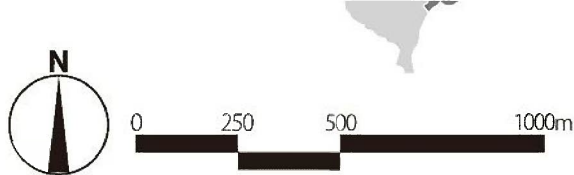
新旧対照表

箇所	新(原案)	旧(素案)
第5章 P48	<p>c スポーツ環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館、広場、総合運動公園等の既存スポーツ施設の改修・整備を推進します。 ・市民のニーズに対応したスポーツ施設の整備の推進や各種大会、スポーツ合宿等の誘致を行うための施設の充実と整備を進めます。 	<p>c. スポーツ環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館、広場、総合運動公園等の既存スポーツ施設の改修・整備や弓道場施設、パークゴルフ場等、市民のニーズに対応したスポーツ施設の整備を推進します。
第5章 P53		

新 旧 対 照 表

箇所	新(原案)	旧(素案)
第6章 P74	<p>■ 主要な都市幹線道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業業務交流拠点における商業活動を支えるため、都市計画道路帖佐駅三拾町線^{※2}の整備を促進するとともに、適切な交通処理のための対策を講じます。 ・加治木西部地区須崎と始良東部地区松原、東餅田をJR日豊本線南側で結ぶ加治木・始良連絡構想線^{※3}の整備を検討します。 ・JR日豊本線南側の市街地と国道10号を結ぶ都市計画道路森山線^{※4}、都市計画道路松原線^{※5}の整備を推進します。 ・九州縦貫自動車道に並行した都市計画道路城瀬東線^{※6}及び市道東原～上水流線を結ぶ延伸路線^{※7}の整備を検討、推進します。 ・土地区画整理事業帖佐第二地区の整備と併せ、都市計画道路上山線^{※8}の整備を検討・推進します。 ・<u>建昌周辺の都市計画道路錦原線と都市計画道路宮島線を結ぶ路線^{※9}を検討します。</u> 	<p>■ 主要な都市幹線道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業業務交流拠点における商業活動を支えるため、都市計画道路帖佐駅三拾町線^{※2}の整備を促進するとともに、適切な交通処理のための対策を講じます。 ・加治木西部地区須崎と始良東部地区松原、東餅田をJR日豊本線南側で結ぶ加治木・始良連絡構想線^{※3}の整備を検討します。 ・JR日豊本線南側の市街地と国道10号を結ぶ都市計画道路森山線^{※4}、都市計画道路松原線^{※5}の整備を推進します。 ・九州縦貫自動車道に並行した都市計画道路城瀬東線^{※6}及び市道東原～上水流線を結ぶ延伸路線^{※7}の整備を検討、推進します。 ・土地区画整理事業帖佐第二地区の整備と併せ、都市計画道路上山線^{※8}の整備を検討・推進します。
第6章 P76		

新 旧 対 照 表

箇所	新(原案)	旧(素案)				
第6章 P76 P86 P94 P102 P112 P130 P138 P146	 <p>(注) 図中の番号は道路ネットワークの 路線番号に対応</p>					
第6章 P89	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">交流促進</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・船津公園、桜公園、住吉池公園等は、多目的スポーツ・レクリエーション拠点として交流環境を整備していく必要があります。 ・鍋倉の八幡神社周辺及び桜公園から米山薬師までの歴史的文化資源や自然環境を活かし、交流環境の整備を図る必要があります。 </td> </tr> </table>	交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・船津公園、桜公園、住吉池公園等は、多目的スポーツ・レクリエーション拠点として交流環境を整備していく必要があります。 ・鍋倉の八幡神社周辺及び桜公園から米山薬師までの歴史的文化資源や自然環境を活かし、交流環境の整備を図る必要があります。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">交流促進</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・船津公園、桜公園、住吉池公園等は、多目的スポーツ・レクリエーション拠点として交流環境を整備していく必要があります。 ・鍋倉の八幡神社周辺の歴史的文化資源や自然環境を活かし、交流環境の整備を図る必要があります。 </td> </tr> </table>	交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・船津公園、桜公園、住吉池公園等は、多目的スポーツ・レクリエーション拠点として交流環境を整備していく必要があります。 ・鍋倉の八幡神社周辺の歴史的文化資源や自然環境を活かし、交流環境の整備を図る必要があります。
交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・船津公園、桜公園、住吉池公園等は、多目的スポーツ・レクリエーション拠点として交流環境を整備していく必要があります。 ・鍋倉の八幡神社周辺及び桜公園から米山薬師までの歴史的文化資源や自然環境を活かし、交流環境の整備を図る必要があります。 					
交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・船津公園、桜公園、住吉池公園等は、多目的スポーツ・レクリエーション拠点として交流環境を整備していく必要があります。 ・鍋倉の八幡神社周辺の歴史的文化資源や自然環境を活かし、交流環境の整備を図る必要があります。 					

新 旧 対 照 表

箇所	新(原案)	旧(素案)													
第6章 P95	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: middle;">歴史・自然資源を活かした交流拠点</td> <td style="text-align: center;">古帖佐焼宇都窯跡（県史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">膝跪驛の墓（市史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">天福寺磨崖仏（市史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">島津義弘居館跡石垣（市史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">帖佐八幡神社の大銀杏（市天然記念物）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">総禅寺墓地</td> </tr> </table>	歴史・自然資源を活かした交流拠点	古帖佐焼宇都窯跡（県史跡）	膝跪驛の墓（市史跡）	天福寺磨崖仏（市史跡）	島津義弘居館跡石垣（市史跡）	帖佐八幡神社の大銀杏（市天然記念物）	総禅寺墓地	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: middle;">歴史・自然資源を活かした交流拠点</td> <td style="text-align: center;">古帖佐焼宇都窯跡（県史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">膝跪驛の墓（市史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">天福寺磨崖仏（市史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">島津義弘居館跡石垣（市史跡）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">帖佐八幡神社の大銀杏（市天然記念物）</td> </tr> </table>	歴史・自然資源を活かした交流拠点	古帖佐焼宇都窯跡（県史跡）	膝跪驛の墓（市史跡）	天福寺磨崖仏（市史跡）	島津義弘居館跡石垣（市史跡）	帖佐八幡神社の大銀杏（市天然記念物）
歴史・自然資源を活かした交流拠点	古帖佐焼宇都窯跡（県史跡）														
	膝跪驛の墓（市史跡）														
	天福寺磨崖仏（市史跡）														
	島津義弘居館跡石垣（市史跡）														
	帖佐八幡神社の大銀杏（市天然記念物）														
	総禅寺墓地														
歴史・自然資源を活かした交流拠点	古帖佐焼宇都窯跡（県史跡）														
	膝跪驛の墓（市史跡）														
	天福寺磨崖仏（市史跡）														
	島津義弘居館跡石垣（市史跡）														
	帖佐八幡神社の大銀杏（市天然記念物）														